

# 北海道ブロック協議会としての

## 5年後のビジョン案

### 【検討の目的】

北海道内における、各自治体の災害廃棄物処理の対応力を底上げするために、5年後を見据えた平時のうちに備えるべきビジョンを明確にする。

ビジョンを明確にするために、必要な要素及び現状の取り組みについて整理し、今後の取り組みについて共通認識をもてるようにする。

### 【必要な要素】

① Q: なぜ必要なのか？

A: 今後起こりうる災害に備えるために

⇒大量に発生する災害廃棄物を処理する＝復旧・復興の促進

② Q: 誰がやるのか？

A: 災害廃棄物＝一般廃棄物 ⇒自治体に処理責任がある

③ Q: いつまでにやるのか？

A: 5年後を目標として

④ Q: 何をすればよいのか？

A: 自治体の力で災害廃棄物処理計画を策定

⑤ Q: どのようにしてやればよいのか？

A: これまでとこれからの取り組みを参考に

1-1

### 【現状の取り組み】

① ブロック協議会の開催

・平成27年度から開催(今回を併せて計8回)

② モデル事業の実施

・平成29年度: 10モデル(対象自治体: 7)

・平成30年度: 6モデル(対象自治体: 9)

③ その他支援

・平成27年度から災害廃棄物対応セミナーを開催(今年度で4回目)

### 【今後の取り組み案】

① 教育研修プログラム

・処理計画策定研修

・被災後、初動期における行動研修

② 事務処理等勉強会

・被災後の事務処理に関する勉強会

・補助金に関する勉強会

(災害報告書、災害査定、補助金交付申請手続き等)

③ ブロック協議会構成機関の実務担当者会議

### 【5年後のゴールイメージ】

自治体の災害廃棄物処理の対応力を底上げし、  
災害廃棄物処理計画の策定率を50%へ

※目安として環境省の目標は2025年までに全国の自治体のうち60%の策定率を掲げている。

1-2